

台湾・植物工場の市場規模と参入事例調査 2015

(一般社団法人 イノプレックス)

【調査概要】

- 調査期間：2013年6月～2015年6月
- 調査対象：完全人工光型植物工場のみ
- 調査方法：各企業・専門家への直接ヒアリング調査が中心

〔完全人工光型植物工場〕

植物工場とは、高度な環境制御（温度・湿度、CO₂濃度、光量、肥料など）を行うことにより、野菜等の周年・計画生産が可能な施設園芸農業の一形態のこと。温室等で太陽光の利用を基本とし、人工光による補光や夏季の高温抑制技術等を用いて栽培する（1）太陽光利用型、閉鎖環境で太陽光を用いずに栽培する（2）完全人工光型の2つのタイプがあるが、本調査では（2）完全人工光型（人工光型）のみを対象としている。

本調査レポートは、2015年7月31日時点における公開・取材情報をもとに作成されたものです。その後の経過によっては情報が変更されている場合もあります。本記事を利用することで発生したトラブルや損害に関して、当法人は一切の責任を負いません。

Innoplex, Inc.

[目次]

1. 台湾における植物工場の市場概要と現状分析 (P4)

- ① 台湾では植物工場ブーム?! 国内に60ヶ所以上の施設が稼働 (P4)
- ② 現場で求められる実践的な栽培ノウハウが不足 (P6)
～日本企業にもビジネスチャンス。台湾と連携しながら中国進出へ～
- ③ 台湾の現状 = 日本における2008年頃。政府による法整備もこれから (P7)

2. 植物工場・展示会の概要情報 (P8)

3. 台湾における植物工場ビジネスの市場動向 (P10)

- ・台湾における植物工場の歴史と現在の稼働数 (P10)
- ・台湾大手企業による植物工場への参入 (P11)
- ・民間企業における大学との共同研究について (P13)
- ・植物工場関連の法律について (農地・有機栽培) (P13)
- ・植物工場野菜の有機栽培認証について (P14)
- ・台湾の電気料金について (P15)

4. 台湾・植物工場の市場規模について (P16)

- ・植物工場の採算性・投資額について (P16)
- ・植物工場の施設稼働数と今後の予測・見通し (P17)
- ・植物工場の市場規模と今後の予測・見通し (P18)

5. 植物工場野菜の商品分析 (P21)

- ① 台湾・消費者における優先度 (P21)
「栄養価」より「安全性」が優先。価格も重要だが「美容・健康」も成功キーワード
- ② 商品の流通システム・インフラについて (P22)
- ③ 各社における商品分析 (P23)
各社の栽培品目・価格(卸値)・商品パッケージ紹介
<中国レタス・葉野菜について> (P24)
<生サラダ用・リーフレタス/葉野菜について> (P26)

<その他の野菜価格について> (P27)

各社における植物工場野菜の価格表一覧 (P30)

ケース事例(1) 太平洋森活 [店舗併設型植物工場／小売一体型] (P34)

ケース事例(2) FeelFree [食品ネット販売事業] (P35)

ケース事例(3) 中華映管 [大手液晶パネル・ディスプレイメーカーによる遠隔一元管理システム] (P36)

ケース事例(4) 大同 [大手家電メーカーによる植物工場野菜の生産・販売] (P38)

ケース事例(5) 台湾三愛農業科技 [投資会社を母体とした植物工場・太陽光パネルメーカー] (P41)

ケース事例(6) KSON [環境制御メーカーによる独自開発プラント] (P44)

ケース事例(7) NEO-OPTIC TEK [2015年より新ブランドによる植物工場野菜の生産・販売] (P47)

ケース事例(8) Lilaiden [モーターを使用しない低コスト型植物工場メーカー] (P50)

ケース事例(9) Advanced Connectek [コネクタメーカーからの参入] (P52)

ケース事例(10) Farmer King [店舗併設型(ジューススタンド)植物工場] (P54)

ケース事例(11) 野菜工房 [国内最大規模の施設を運営] (P59)

ケース事例(12) 太極光光電 [低コスト型植物工場への挑戦と環境志向型アグリビルディング] (P66)

ケース事例(13) Nice Green [ブランド化・六次産業化に成功した大規模施設] (P70)

ケース事例(14) Nanobiolight [老舗植物工場から緑化や街づくりへの事業転換] (P75)

ケース事例(15) Solidlite [台湾市場では植物育成用 LED シェア NO.1] (P77)

その他の企業・研究機関リスト 他 9 社 (P81-85)